

治療と仕事の両立支援セミナー

～働きたい人の気持ちを支えていきたい～

【日程】 令和5年12月14日

(木曜日)

【会場】 千葉文化センター 9階会議室 【時間】 14:00～16:20

【住所】 千葉市中央区中央2-5-1 【定員】 100名

千葉中央ツインビル2号館9階

治療と仕事の両立支援とは

病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられる社会を目指す取り組みです。



セミナー概要

1 治療と仕事の両立について

事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン等について解説します。

2 事例発表

職場復帰を支えてきた房日新聞社の取組、闘病生活を乗り越えて復職した忍足利彦氏の当時の状況等を発表します。また、千葉産業保健総合支援センターから両立支援の内容についても説明します。

・事例発表者紹介

房日新聞社 総務グループ長 渡邊 誠人 氏

おしだり としひこ

房日新聞特別編集委員 忍足 利彦 氏

経歴：房日新聞1面コラム「展望台」火曜日、金曜日担当の特別編集委員。千葉県南房総市生まれ。房州をテーマに、地元 密着型の取材活動を続け、房日新聞に掲載。

令和3年4月5日午後6時、皮質下出血（脳出血）で倒れる。入院の様子を報告する「病床の詩人の入院素描」を連載。復帰後、入院中に構想を得た内容を房日新聞に執筆中である。



主催

千葉県地域両立支援推進チーム

ご予約
お問い合わせ

 厚生労働省・千葉労働局 健康安全課

TEL：043-221-4312



予約受付サイト